

# 第63期 中間株主通信

2020年2月1日～2020年7月31日



トキワ荘マンガミュージアム



株主の皆様におかれましては、日ごろより格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 高橋 貴志

## ■上半期を振り返って

当第2四半期連結累計期間(2020年2月1日～2020年7月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により厳しい状況が続きましたが、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げておりますが、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当ディスプレイ業界の事業環境につきましても、東京オリンピック・パラリンピックの延期決定や緊急事態宣言の発出による受注活動の停滞、工事の中断や工期の変更等の影響を受けました。緊急事態宣言解除後は徐々に事業活動を再開しているものの、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、従業員並びに当社関係者の安全確保を最優先に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した上で、継続的な成長と更なる企業価値の向上を目標に事業活動を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は367億16百万円(前年同四半期比0.1%増)となり、営業利益は34億64百万円(前年同四半期比38.2%増)、経常利益は35億53百万円(前年同四半期比36.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億56百万円(前年同四半期比33.2%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の受注高は356億40百万円(前年同四半期比17.0%減)となりました。

## ■通期の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立っていないため、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましても、緊急事態宣言の解除等により、経済活動に再開の動きが出てきたものの、当事業年度中は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響(イベントの中止・延

期・自粛、設備投資の抑制、大型開発の延期・長期化等)が継続することを前提に、当社事業の特性上、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のような事態が業績に与える影響は遅延する傾向を踏まえ、下半期の利益に影響を受けることを想定しております。

なお、2021年1月期通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を合理的に算定することが困難であったため、2020年6月10日に一旦取り下げ、未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間の実績ならびに現時点において入手可能な情報をもとに、連結業績予想を算定することが可能であると判断し、下表のとおり2020年9月11日に公表いたしました。

## ■2021年1月期通期連結業績予想

(百万円)

売上高	営業利益	営業利益率(%)	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	ROE(%)
70,600	3,700	5.2	3,800	2,400	8.4

なお、2021年1月期通期連結業績予想には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束時期の変動のような潜在的な不確実性が含まれております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想値とは大きく異なる可能性があります。

## ■配当金について

当期の中間配当金は、1株当たり22円とさせていただきます。なお、期末の配当予想につきましては、次年度以降の経営環境ならびに業績動向が現時点で不明瞭であるため、引き続き未定とさせていただきますが、今後、算定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年10月

### 商業その他施設事業

連結売上高 **207億45**百万円(前年同四半期比 2.2%減)

連結営業利益 **22億78**百万円(前年同四半期比 48.2%増)

商業その他施設事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受注活動の停滞や工事の中断及び工期の変更等の影響を受けたものの、主にサービス分野(オフィス、テーマパーク、空港関連施設等)の新改装案件については堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期並みとなりました。セグメント利益については、収益性を重視した事業活動を行った結果、前年同四半期を上回りました。



DMMかりゆし水族館  
全体ディレクション:(株)電通、(株)電通ライブ

### チェーンストア事業

連結売上高 **107億16**百万円(前年同四半期比 8.9%増)

連結営業利益 **6億74**百万円(前年同四半期比 14.0%増)

チェーンストア事業においては、主に飲食店分野及びその他専門店分野において、大型案件が増加したこと等により、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。



治一郎 ルミネ新宿店

### 文化施設事業

連結売上高 **50億79**百万円(前年同四半期比 6.9%減)

連結営業利益 **4億60**百万円(前年同四半期比 61.8%増)

文化施設事業においては、大型案件が減少したこと等から、売上高は前年同四半期を下回りました。しかしながら、前年同四半期に比べ収益性の高い案件が多かったこと等により、セグメント利益は前年同四半期を上回りました。



京都伝統産業ミュージアム

### その他

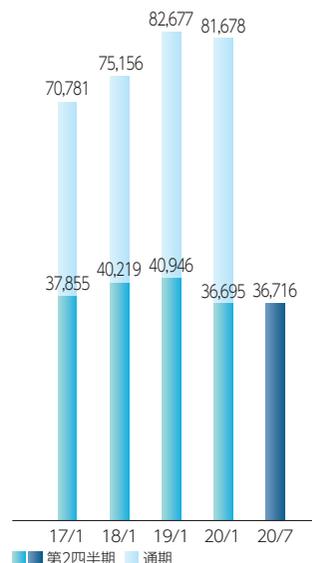
連結売上高 **1億75**百万円(前年同四半期比 10.1%減)

連結営業利益 **73**百万円(前年同四半期比 33.6%減)

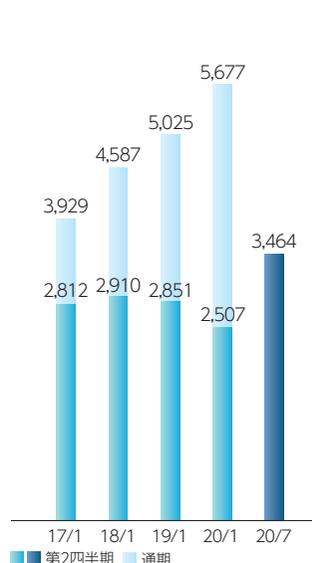
その他においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ディスプレイ業以外の事務サービス等についても需要が減少したため、売上高、セグメント利益ともに、前年同四半期を下回りました。

### 連結財務ハイライト

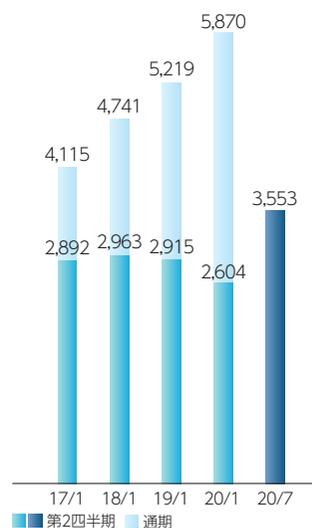
売上高 (単位:百万円)



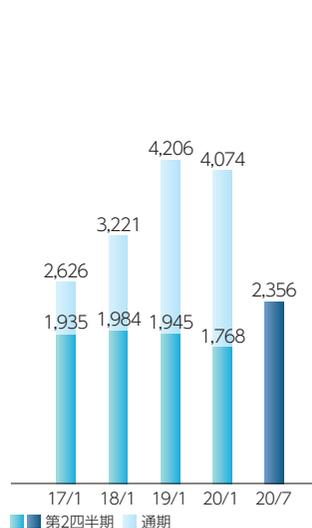
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



### 連結財務諸表

#### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	2020年1月31日現在	2020年7月31日現在
流動資産	38,901	38,651
固定資産	7,859	7,662
流動負債	17,758	16,231
固定負債	726	646
純資産	28,276	29,435
総資産	46,761	46,314

#### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	自2019年2月1日 至2019年7月31日	自2020年2月1日 至2020年7月31日
売上高	36,695	36,716
売上原価	29,673	28,934
売上総利益	7,021	7,782
営業利益	2,507	3,464
経常利益	2,604	3,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,768	2,356

#### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	自2019年2月1日 至2019年7月31日	自2020年2月1日 至2020年7月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△871	3,612
投資活動による キャッシュ・フロー	16	△223
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,568	△1,025
現金及び現金同等物の 四半期末残高	14,514	16,256

詳細な財務情報は、当社ウェブサイトIR情報をご覧ください。

アドレスはこちら▼

<https://www.tanseisha.co.jp/ir/>

# マンガの“聖地”を約5年がかりで再生「トキワ荘マンガミュージアム」



## 昭和を代表するマンガ家が暮らしたアパートを当時の姿で

2020年7月、東京都豊島区南長崎に「豊島区立トキワ荘マンガミュージアム」がオープンしました。手塚治虫先生をはじめ、昭和を代表するマンガ家たちが若手時代に過ごした木造アパート「トキワ荘」（1982年解体）を約5年がかりでリアルに再現したもので、豊島区様がマンガやアニメを次世代に継承、発信する拠点を目指して取り組んできました。



「トキワ荘」跡地に近い南長崎花咲公園内に建てられた延床面積約560㎡のこの施設は、一見木造モルタル2階建てですが、現在の建築基準法に則った鉄骨造の耐火建築物です。外壁や屋根の汚れ、手摺りに浮いたサビまで再現された佇まいは、昭和にタイムスリップしたかのよう。玄関前には昭和30年頃の電話ボックス、手描きの看板が設置され、来館者を迎えます。レトロな玄関から靴を脱いで上がり、軋み音のする階段で2階フロアに進むとトキワ荘があった旧・椎名町を紹介する常設展示室、使い込まれた跡まで再現された共同炊事場などに続き、マンガ家たちが暮らした四畳半一間が廊下を挟んで並んでいます。1階は関連書籍の閲覧など多目的に活用できる「マンガラウンジ」と、企画展示室になっています。

## 写真やヒアリングをもとにスケッチして図面に



トキワ荘があった南長崎地域では、20年以上前からマンガ文化を活用したまちづくりを求める声が強くなりました。これを受けて豊島区様はトキワ荘を再現することを決め、2016年7月に「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム」(現・豊島区立トキワ荘マンガミュージアム)構想を発表します。当社はこれに先立ってトキワ荘の文化継承と活用の可能性や課題を整理するための基礎的調査を実施。また、歴史系博物館などの設計・施工を通じた展示収蔵環境の整備、空間再現やエイジングのノウハウなど、当社の強みを活かしながらマンガミュージアム実現のお手伝いをさせていただきました。

トキワ荘は設計図が1枚も現存していなかったため、関連するさまざまな文献に目を通し、数少ない写真やマンガ家の先生方への聞き取りで得た情報をもとに、1点1点スケッチを描く作業からスタートしました。幸いその過程で、解体される間に暮らしていた住人の方が撮ったアパート内部の写真や、新聞に記録された解体時の写真を発見できたことから梁や柱の位置が判明し、当時の建物の間取りや規模感が徐々に見えてきました。

## 細部までこだわり、エビデンスに基づいて演出

最も苦労したのが時代設定でした。トキワ荘の解体からすでに30年以上経過し、ファンの皆様を抱くトキワ荘のイメージもさまざまです。そのため多くのマンガ家が住んでいた新築から10年ほど経ったイメージで、映画のセットや再現展示を得意とする美術チームが外観や内装のエイジングを施しました。それでも、モノクロ写真からは外壁や屋根瓦の色までは分かりません。そこで、サンプルを数種類用意し、マンガ家の先生方をはじめ、近所に住まわれていた方々や当時の住宅事情に詳しい専門家にも加わってもらって選びました。

制作段階に入っても、再現性を高める調整には可能な限り対応しました。例えば、天井板は設計段階では雰囲気に近い既製品シートを貼る予定でしたが、豊島区の郷土資料館でトキワ荘の天井板の実物を所蔵していたことから仕様を変更。実物を高精細撮影した画像をクロスシートに出力し、板状の不燃材に巻いて貼り込みました。また、先生たちの部屋に置かれた小物や書籍、照明器具なども、開館後に問い合わせがあった場合も想定して歴史的なエビデンス(裏付け)を踏まえて選んだものです。窓越しに見える風景の書割も、トキワ荘周辺の関係者にヒアリングした上で描き上げました。

一般の方が住んでいた1階には、ミュージアムとしての機能を持たせました。「マンガラウンジ」ではトキワ荘ゆかりのマンガ家のマンガや書籍を閲覧できるほか、トキワ荘のジオラマ、警視庁五方面記者クラブから寄贈された手塚治虫先生直筆イラスト入りの「トキワ荘の天井板」が展示されています。また、「企画展示室」では定期的にテーマを変えながらマンガに関連する展示が開かれています。

当社は本プロジェクトにおいて、基礎的調査に始まり、展示・建築・外構設計、サイン設計、開館準備のコンサルティングまで担当し、建物の設計・監理も協力会社と協業してやり遂げました。当社支援の検討委員会で行ったワークショップを通じて地域の皆様から集めた意見やアイデアは、南長崎地域のまちづくりにも活用いただいています。本プロジェクトを通じて得られた知見とノウハウは、今後地域創生の取り組みをはじめとしたさまざまな事業活動を展開する上で大きな財産になりました。

## プロジェクトに携わったメンバー



(左から)  
制作・施工  
総合ディレクション  
プロジェクトマネジメント  
調査・企画  
プロジェクトマネジメント

飯川 隆弘  
加藤 剛  
鈴木 良亮  
大木美枝子  
河合 莉紗

## 「広島平和記念資料館」が「D&AD賞2020」で Yellow Pencilを受賞しました

当社が企画、設計、施工をいたしました「広島平和記念資料館」がデザイン及び広告における世界的な賞である「D&AD賞2020」(イギリス)の空間デザイン部門において、金賞に該当する「Yellow Pencil」を受賞しました。



「被爆者の視点」を通して、計り知れない惨状の記憶を呼び起こす

同館は、原爆の非人道性、被害の凄惨さを後世により分かりやすく伝えることを目的に2019年に全面リニューアルされました。膨大な記憶と記録の集積からなる一連の風景をもって、あらゆる立場の被爆者の魂の叫びを世界中の人々の心に響かせる空間としています。

今後も、空間をご利用いただく皆様の視点を忘れず、お客さまの事業への貢献ができるよう、豊かな空間づくりへの取り組みを続けてまいります。

## 「アートとしての工芸×空間デザイン」を提案する展示を実施しました

当社は、「アートとしての工芸×空間デザイン」を提案する展示を本社クリエイティブミーツにて実施しました。本展示は、当社の新規事業であるアート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWNND(ビーOWNND)」参画アーティストである陶芸家 市川透氏と連携し、伝統工芸・アート・空間デザイン、そしてビジネスの立場から、アートをインテリアとして昇華させた新しい空間づくりにより、空間表現における価値創出を試みるものです。コロナ禍により中止となった展示会で展開を計画していた内容を、新たな設えで公開いたしました。



本社クリエイティブミーツに公開された展示の様子  
アート作品を既製タイルに合わせて制作し、インテリア素材の段階から融合させた

今後も、日本の「文化の担い手」であるアーティスト・工芸家の活動の幅を広げ、日本の文化芸術の振興への貢献を目指すとともに、アーティストとのコラボレーションによる新たな空間価値の創造と体験機会の創出に挑戦していきます。

## ウェブサイトのご案内

当社のウェブサイトでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。

当社をよりご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

<https://www.tanseisha.co.jp>



## 会社概要 (2020年7月31日現在)

商号	株式会社丹青社
設立	1949年10月14日
資本金	40億2,675万657円
従業員数	1,026名(連結:1,311名)

## 役員 (2020年7月31日現在)

代表取締役会長	青田 嘉光	取締役 常勤監査等委員	河原 秀司
代表取締役社長	高橋 貴志	社外取締役 監査等委員	松崎 也寸志
取締役常務	徳増 照彦	社外取締役 監査等委員	新島 由未子
取締役常務	戸高 久幸	社外取締役 監査等委員	吉井 清信
取締役常務	小林 統		
取締役	中島 実		
取締役	篠原 幾徳		
取締役	森永 倫夫		

## 株式の状況 (2020年7月31日現在)

株式の総数	
発行可能株式総数	187,200,000株
発行済株式総数	48,424,071株
株主数	15,017名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,188千株	6.63%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,579	5.37
丹青社取引先持株会	2,404	5.00
第一生命保険株式会社	1,907	3.97
株式会社三井住友銀行	1,500	3.12
株式会社三菱UFJ銀行	1,482	3.08
日本生命保険相互会社	1,446	3.01
丹青社従業員持株会	1,303	2.71
みずほ証券株式会社	936	1.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	802	1.67

※1 持株比率は、自己株式(317,426株)を除いて算出しております。

※2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日付の合併に伴い、商号を株式会社日本カストディ銀行に変更しております。

## 株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当1月31日/中間配当7月31日
定時株主総会	毎年4月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.tanseisha.co.jp/">https://www.tanseisha.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com/>  
アクセスコード 9743

いいかぶ

●アンケート実施期間は、本書がお手元に着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)

撮影：(株)ナカサンドパートナーズ、御園生大地、PIPS、フォワードストローク

ここを動かす空間をつくりあげるために。

# 株式会社 丹青社

〒108-8220 東京都港区港南一丁目2番70号

Tel. 03(6455)8100(代表)

Fax. 03(6455)8220(代表)

